

近年、文大杉並が努めつづけた主題は「わかる授業の徹底」。授業時間はもちろん、登校から下校に至るまでに「わからないことを残さない姿勢」。毎時間の授業、そして毎日の学園生活が高密度に満たされました。

生徒たちは週2回、7時間目にも教室にとどまります。特に主要教科の学びを強化。生涯の支えとなる学力を蓄えます。生徒たちの意欲に、学校のなかで精いっぱい応えたい。文大杉並の先生方のモチベーションも高まります。高校生は全員がセンター試験を受験する方針を定めました。先生方も担当科目にかかわらずセンター試験科目をクリアする実力を鍛えます。ともに高きを目指そう！一体感も覚えます。

この数年の学校改革の成果が実ります。かつて控えめな印象だった文大杉並は今、東京を代表する女子進学校として目を覚ましたかのよう。でも、文大杉並は名門大学に多数輩出するだけの「大学進学予備校」を目指しているのでしょうか？

文大杉並は伝統的に女子スポーツの強豪。毎年、多数のクラブが「全国」を目指しています。放課後には、今も変わらず、鼓舞しあう声が響き、真剣なまなざしが向き合います。「部活動はほどほどに受験勉強に専心しよう」という方針転換はみじんも見えません。

部活動も学校行事もそして学習も、何でも一生懸命に励もうじゃないか。文大杉並生の気概を確かめてほしい。

キャンパスを訪れるとその活気に驚くでしょう。元気はつらつな文大杉並生。

スクールモットーは「燃えよ！価値あるものに」。「あなたは何に燃えるのか。この瞬間を無駄にせず自分が熱中できる対象を探し、精いっぱい打ち込みなさい。やがて真に価値あるものを見いだすでしょう。」そのメッセージに迷いも陰りもありません。

成長期の女子たちの道のりは険しい。急峻な坂道に怯み、高い壁にも阻まれます。でも、くじけずその先を目指す。克服すれば感動が待っているのです。感動体験を積み重ねる。それが文大杉並の「感動の教育」。先生に導かれ、仲間たちと高めあいます。自分は独りで生きているのではないことを生徒たちは体感します。人と人がつながり＝Bunsugi colourが織りなされます。

総合的な学習の時間など、さまざまな好機を活かし、自分がどう生きるべきかを深めます。文大杉並の生徒たちは素直に正面で受けとめ、自分に照らして、掘り下げます。やがて、「こんな女性になりたい！」と具体的なビジョンを描きはじめます。

部活動も強豪として一目置かれる。力と心を結集した学校行事が感動を与える。かつ、足取りもたくましく未来に向けて学ぶ。それができるのが今の文大杉並です。「大学進学」だけを突出して宣言する学校とは一線を画します。生徒たちのカラフルな多様性を大切に。個性を磨くための多彩なステージが待っている。一人ひとり夢をかなえるためのバックアップ体制も万全。クラブ活動でもファッションでも英語学習でも、個々が見つけた「価値あるもの」に燃える。

名門大学に何名合格するのか？以上に、文大杉並らしい感性豊かな女子がどれだけ育つのか？そう見つめたいと思います。

女子だけの環境で思い通りのびのび。女子校のアドバンテージも目に鮮やか。

明朗快活で実直な生徒が多い！との評が広まります。

彼女たちが文大杉並の勢いを伝えているのです。

文大杉並の女子諸君が常に「価値あるもの」を求めながら、感動の経験を積み、

元気いっぱい伸びるよう応援したいと思います。

コシノジュンコデザインの洗練された制服をさっそうと着こなす、

エレガントな歩みも「ぶんすぎ」生らしいですね！

今伝えたい…

勢丸「文大杉並」の

22年度入試でも志願者数が前年を上回った学校です。際立つ女子専用の成長環境を誇る中、

本年、新校名「文化学園大学杉並中学・高等学校」を掲げました。

今、勢いよく上昇スパイラルにのる女子校です。これから、さらに高く伸びるでしょう。スポットを浴びています。

長年親しまれる「ぶんすぎ」の愛称は、さらに拡声され、女子受験生の耳に届くでしょう。

## ● 文大杉並のコース制

高等学校では「特別進学コース」「英語コース」「総合コース」の3つのコースが、一人ひとりの意欲に応えます。「特別進学コース」は、放課後の特別講習や年2回の合宿勉強会など、基礎基本の徹底から始める学習は質量ともに充実。

トップレベルの大学進学を目指しています。単なる教科学習にとどまらず

「人間性重視」の教育が支えます。文大杉並は国際派の先駆校。「英語コース」の評価は東京都の各種英語コンクール優勝に表れています。

## ● 毎年、「全国」を狙う高等学校運動部

強豪とはいえ精神論をたたき込むような指導はありません。先輩が威張り散らすような風習も皆無。ただ、技術を与え、機械的なトレーニングを積みだけでは強くない。文大杉並の指導は「自律」を促します。選手たちは自分で考えるのです。自分から積極的にチャレンジします。彼女たちはそうして錬磨しているから、プレッシャーを背負う局面でも力を発揮するのですね。その姿勢は部活動だけではなく、学習でも同じです。

